



佐渡航路におけるアオツラカツオドリの観察記録

中津弘¹・大西敏一²

1. 新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター. 〒952-0103 佐渡市新穂湯上 1101-1
2. 日本野鳥の会 大阪支部. 〒554-0022 大阪市此花区春日出中 1-3-19-401

本稿の筆者のひとりである中津は、日本海の佐渡航路上で1羽のアオツラカツオドリ *Sula dactylatra* を観察した。本種は、カツオドリ目カツオドリ科に属する外洋性の海鳥であり、熱帯および亜熱帯の海域に生息し、島嶼でコロニーを形成して繁殖する (del Hoyo *et al.* 1992)。佐渡島近海では、飛べなくなったアオツラカツオドリの発見・保護の事例が40年以上前に一度あるものの (佐藤 1968)、日本海側の高緯度地域での本種の観察は希少と思われるので、報告する。

この個体は、2011年9月14日の午前9時55分–10時10分、日本海の佐渡航路 (両津–新潟間) 上、新潟県佐渡島東部の姫崎の東沖合およそ3kmから10kmにかけての海域で観察された (38°06′10″N, 138°33′56″E–38°04′20″N, 138°40′10″E. 図1)。当日は晴天であり、直前の3日間も佐渡島付近では晴天が続き、台風の接近や通過はない条件であった。

本個体は、周囲を飛翔していたウミネコ *Larus crassirostris* より二回り以上大きく、長い翼に葉巻形の体、大きく尖った嘴やくさび形の尾などから、一見してカツオドリ科 Sulidae の1種であると分かった。形態的な特徴は、頭部から上尾筒にかけての体上面と喉以下の体下面全体は白く、風切と尾羽は黒褐色で雨覆は白

かった。各部位の白色部に斑紋などは認められず、一様に純白であった。嘴は黄色く、顔の裸出部は青黒色で、足は暗色であった (図2)。

世界に生息するカツオドリ科の鳥類の中で、本個体のように頭部を含め体上・下面が純白の種はアオツラカツオドリしか存在せず (del Hoyo *et al.* 1992)、前述した特徴から、本個体はアオツラカツオドリの成鳥であると断定した (del Hoyo *et al.* 1992, 叶内ほか 2013, 真木ほか 2014)。ただし、本種は雌雄同色であるため、性別は不明であった。

観察個体は単独であり、佐渡両津港発・新潟港行きのカーフェリーに並行して東南東へ飛翔し、ダイビングからの採餌と海面上での短時間の浮遊を繰り返していた。舷側の低空を飛翔するのを船室から発見し、甲板にて観察・撮影を行ったが、カーフェリーが航行するにつれて本個体との距離が開いていき、最終的に船尾側で見失った。

日本海近辺での本種の記録はこれまで3例が報告されている。最も古い例は、1968年1月に佐渡島の北方沖合に係留していた船舶上で保護された成鳥の負傷個体である (佐藤 1968)。この個体は、装着されていた足環から、太平洋中部のハウランド島 (Howland Island. 文献によってはホーランド島とも表記) で1964年10月に標識放鳥されたものであることが判

2015年1月7日受理

キーワード：アオツラカツオドリ, 日本海, 佐渡島



図1. 観察位置. アオツラカツオドリの発見から消失までの位置を矢印で示した.

Fig. 1. Location of the bird observed. The arrow, from its tail to head, indicates the flight path of the Masked Booby.

明した（吉井ほか 1970）. 次の記録は、韓国の釜山近辺で 1970 年 9 月に撃ち落とされた成鳥についてであり、装着されていた足環から、1964 年 7 月に太平洋中部のマッキーン島（Mckean Island）で抱卵中に標識放鳥された個体であることが確認された（Clapp 1980）. 標識放鳥地点から回収地点への距離は、前者で約 6,200km、後者で約 7,300km に及ぶ. また、2012 年 10 月には、能登半島沖の舢倉島航路にて成鳥 1 羽が観察・撮影されている（平野 2012）.

本種の成鳥は、多くの場合コロニーの近海に周年生息するが、洋上に遠出する個体がいることも知られている（del Hoyo *et al.* 1992）. 日本国内における本種の繁殖は、尖閣諸島の北小島および南小島（高良 1954, 沖縄県文化環境部自然保護課 2005）、小笠原諸島の西之島（川上ほか 2005）で知られている. また、琉球諸島西部では、西表島の南西沖約 15km にある

仲ノ神島に本種の若い個体が多数飛来するのが例年観察されており、尖閣諸島で生まれ分散していた個体が帰還しているものと推察されている（Kohno 2000）. 佐渡航路での観察海域から最も近い繁殖地は西之島で南へ約 1,200km 隔たっており、北小島および南小島は南西へ約 2,000km の距離にある.

太平洋東部のクリッパートン島で、育雛もしくは抱卵中のアオツラカツオドリに GPS データロガーあるいは GPS トランスミッターを装着して採餌トリップの空間パターンを調べた Weimerskirch *et al.* (2008) は、本種が同島から平均 103km、最大 242km の範囲で採餌を行っていたと報告している. 洋上の採餌場所と営巣地の間の長距離を往復することは、本種が比較的広範囲で活動できる航法と定位の能力を持っていることを示唆している. 佐渡近海での本種の観察は、遠出個体あるいは迷行個体の稀な出現によるものと推測される.



図2. 佐渡航路で観察されたアオツラカツオドリの成鳥.

Fig.2. An adult Masked Booby (*Sula dactylatra*) observed off Sado Island in the Japan Sea

本種は、環境省のレッドリストにおいて、2012年の改定により絶滅危惧Ⅱ類から指定解除されたが、環境省自然環境局野生生物課(2002)が本種の生息地についての資料が少ないとした状況から、現在に至るまで十分な情報が蓄積されてきたとは考えにくい。今後も航路等での観察情報を蓄積していく必要がある。

引用文献

- Clapp, RB. 1980. Occurrence of Central Pacific Blue-faced Booby and Sooty Tern in Southeast Asia. 鳥 29: 95-96.
- del Hoyo, J., Elliot, A., & Sargatal, J. 1992. Handbook of the Birds of the World, vol.1: Ostrich to Ducks. Lynx Edicions, Barcelona.
- 平野賢次編. 2013. 石川野鳥年鑑 2012. 日本野鳥の会石川, 金沢.
- 叶内拓哉・安部直哉・上田秀雄. 2013. 新版 日本の野鳥. 山と溪谷社, 東京.
- 川上和人・山本裕・堀越和夫. 2005. 小笠原諸島西之島の鳥類相. Strix 23: 159-166.
- 環境省自然環境局野生生物課編. 2002. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック2 鳥類. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- Kohn, H. 2000. Visits of immature Blue-faced and Red-footed Boobies to Nakanoshima, South Ryukyus, Japan. Bull. Inst. Oceanic Res. & Develop., Tokai Univ. 21: 111-117.
- 真木広造・大西敏一・五百澤日丸. 2014. 日本の野鳥650. 平凡社, 東京.
- 沖縄県文化環境部自然保護課. 2005. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編) レッドデータおきなわ. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇.
- 佐藤春雄. 1968. 佐渡ガ島にアオツラカツオドリ *Sula dactylatra*. 鳥 18: 419-420.
- 高良鉄夫. 1954. 尖閣列島の動物相について. 琉球大学農学部学術報告1: 57-74.
- Weimerskirch, H., Le Corre, M., & Bost, CA. 2008. Foraging strategy of masked boobies from the largest colony in the world: relationship to environmental conditions and fisheries. Marine Ecology Progress Series 362: 291-302.
- 吉井正・蓮尾嘉彪・市田則孝. 1970. 鳥類標識試験報告 第8回(昭和43年度). 山階鳥類研究所研究報告6: 32-53.

Observation record of a Masked Booby *Sula dactylatra*
off Sado Island, Niigata Prefecture, central Japan

Hiromu Nakatsu¹ & Toshikazu Onishi²

1. Center for Toki and Ecological Restoration, Niigata University. 1101-1, Niibokatagami, Sado City, Niigata, Japan, 952-0103
2. Osaka Branch of the Wild Bird Society of Japan. 1-3-19, Kasugadenaka, Konohana-ku, Osaka City, Japan, 554-0022

We here report the observation of an adult Masked Booby *Sula dactylatra*, which was made off Sado Island in the Japan Sea (N38°06'10", E138°33'56"–N38°04'20", E138°40'10") on September, 14, 2011. This bird flew above the ocean, making some dives into the water for foraging, and floating on the water surface during 0955–1010 h of that day. The Masked Booby is rarely recorded in and around the Japan Sea. The species' nearest breeding site, which has been known to be active recently, is Nishinoshima Island of the Ogasawara Islands, approximately 1,200 km to the south of the location of observation.

Key words: Masked Booby *Sula dactylatra*, Japan Sea